
サンジェルマン女爵

瑠璃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サンジエルマン女爵

【Zマーク】

Z4299C

【作者名】

瑠璃

【あらすじ】

両親の失踪とともに度重なる不幸に見舞われる少年と、その親戚にあたる謎の女性が織り成す現代世界が舞台のダークファンタジー！

おひやご（繪書先生）

更新速度は遅いと思こます。

僕の穏やかで何もない平和な日々は突如として終わりを告げる。両親が行方不明になつたことで

両親は多大な借金を残し、夜逃げ同然で姿を消す。僕をひとり残して……。

そんな両親が行方をくらました次の日、僕の家は放火魔のせいでの消失……。

僕は両親を、家を失つたのだ。さらに借钱取りが僕の許へ……。でも、僕は運が良いのかも知れない。すぐに救いの手は差し伸べられたのだから

度重なる不幸に見舞われる僕、桐村翔太郎に救いの手を差し伸べてきたのは母方の親戚であり、そんなは母方の親戚の元へ引き取られることとなる。

だが、失踪した父親の妹である叔母の紫苑さんは、

「あのサンジエルマン伯爵に引き取られるとはね……。アンタはホント不幸だわ……」

と僕を引き取る、申し出た母方の親戚のことをサンジエルマン伯爵と呼んで苦笑を浮かべるのだった。

サンジエルマン伯爵つていうと、確か18世紀後半だからフランス革命勃発当時の実在の人物の名前だったような気がしたけど……。む、どうしてそんな人物の名前で呼ばれているんだろうなあ……。

とまあ、その僕の疑問はさておき。

これが僕の身に危険が忍び寄る第一歩、発端となるのだった！

僕の名前は桐村翔太郎。

ありていに言えば、どこにでもいるような16歳男子。

趣味は昼寝。時々テレビゲームに興じることもあるが、なんだかそれも飽きてきた。

スポーツは大嫌い、勉強も大嫌い……つと、ダメな人間の集合体みたいだなあ、やれやれ。

さてと、僕は両親の失踪で僕はなにもかも失う。

それが運命なのかな？ だとしたら僕は悲運な星の下に生まれた忌み子だあ！！！

はあ、まったく、溜息が止まらないよ……。

とまあ、そんなこんなで悲觀に暮れる俺を引き取りたい、と申し出る親戚が現れたので正直驚いた！！

しかも、失踪した父親の妹である叔母の紫苑さんが、サンジエルマン伯爵と呼び奇人扱いしている人物だ。

紫苑さんがなにを言おうが一度会つてみないと分からぬ。

そんなわけで僕は、サンジエルマン伯爵と紫苑さんが呼ぶ件の親戚の許へ出張つてみようと思い立つのだつた。

しかし、何故、サンジエルマン伯爵と呼ばれているんだろう！？ 確か、その人が女性のはずなのに……。

それにサンジエルマン伯爵つてフランス革命が起きた時代だから18世紀後半に生きた鍊金術師！？

むづ、なんでそんな人物の名前で呼ばれているのかさっぱり分からぬ。

まったく、謎は深まるばかりだ……。

俺が住んでいた町から何本も列車を乗り継いでやっとたどり着けるのが、某都道府県S市の地方都市茜ヶ丘 サンジエルマン伯爵と叔母の紫苑さんが呼ぶその人物は暮らしている田舎町だ。ま、そんなこんなで俺は茜ヶ丘へやって来た。

今日から、この町が俺の生活の場となるんだ！

今は、どんな生活が待っているのか、それを楽しみにしておこう……。とそう思い立ち茜ヶ丘の駅に降り立つた俺だったが、いきなり黒服にサングラスという如何にも暴力団絡みつて感じがする男たちと遭遇する。おいおい……。

「桐村翔太郎さんですね？ お迎えに参上いたしました」
そんな黒服の男のひとりがペコリと一礼すると、他の黒服の男たちも、この俺に対して一礼する。
な、なんだあ……。こりや、一体……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4299c/>

サンジェルマン女爵

2010年10月15日09時30分発行